



当日の質問と回答について



アンモニアを人工的に作る際に発生するCO₂については度外視できる分量であるということなのでしょうか？



燃料アンモニアの利用技術開発とサプライチェーン構築が並行して進められています。後者では製造時に大気にCO₂を排出せず、主に地下に貯留するブルーンモニアを2030年までに年間300万トン海外で製造する目途がつつあります。また製造コストを低減させたグリーンアンモニアに切り替えていく計画も進んでいます。日本にアンモニアを輸送するタンカーも大型外洋船エンジンにアンモニアを燃料として使用する技術開発が急ピッチで行われており、アンモニア製造から輸送、日本での利用までCO₂を大気に排出しない構想実現に向けた活動が、官民挙げて進められています。

